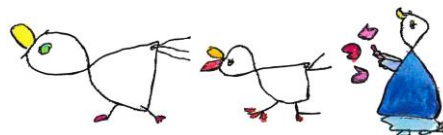




Come on



徳島文理大学人間生活学部 児童学科だより No.011 令和2年10月



## オープンキャンパス

9月20日(日)

### 模擬授業①「デジタルで遊ぼう」

まずは、ビジュアルプログラミング言語であるViscuitをつかって簡単なプログラミングを楽しみ、スマホの「ショートカット」というアプリをつかってオリジナルのプログラムづくりにチャレンジしました。



### 模擬授業②「子どもを読書好きにさせるゲームを体験しよう！」



子どもの絵本の出合わせ方を楽しい読書ゲームを通して体験しました。アニメーションをいう方法です。「と、おもったら・・・」という本を活用して、どんどん想像をふくらませていきました。

10月4日(日)

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で7月が中止になり、代わりに、10月4日にオープンキャンを開いたところ、県内外から多くの高校生や保護者の方が参加してくださいました。「かなえる力」の動画の中で「小学校の先生になりたい！」と夢を語る男子学生が登場します。それから2か月たって、彼は、見事、夢である愛媛県の小学校教員の現役合格を果たし、「その秘訣」を語ってくれました。



児童学科の魅力伝える動画は、上のQRコードを読みとると見ることができます。同じページで児童学科の「学び編」も見ることができます。

### 模擬授業のテーマは「○△□を使って作品を描き、自分の個性や良さを再確認しよう」



3つの形の組み合わせや重なりを考えながら、自分だけの素晴らしい世界を創作しました。

## 令和2年度実施 採用試験一次合格者 (10月13日現在)

※幼・保・小学校ともに最終結果待ちです。



### 幼・保 17名

徳島市	2	吉野川市	1
美馬市	1	北島町	1
観音寺市	1	四国中央市	1
三豊市	1	直島町	2
姫路市	1	明石市	1

### 小学校 31名

阿南市	1	高知県	17
高松市	2	徳島県	5
東かがわ市	1	愛媛県	4
西宮市	1	沖縄県	3
		大分県	2

# プログラミング教育 勉強会 10月6日(火)

4年生の専門科目に「保育教職実践演習」という科目があります。名前の通り、より実践的な学びを通して現場で通用する力を身につける科目です。小学校の現場ではどのような形でプログラミング教育がおこなわれているのか、徳島県で先進的にプログラミング教育に取り組んでいる小松島市南小松島小学校の定國先生を講師としてお迎えしお話をさせていただきました。実際に小学校5年生でおこなわれている公倍数の学習についてプログラミング的思考を働かせながら体験しました。最後には、目前に迫ったGIGAスクール構想についての話もいただきました。きりのある勉強会となりました。

以下は、学生の感想です

◆今日の講話を聴き、一番印象に残っていた事は、プログラミングを通して、論理的思考力を育むだけでなく「仲間との協力や、自分自身の頑張りを体感した」というアンケート結果を見たことです。自分自身、プログラミングは個人で取り組むもの、というイメージがありました。学習活動を工夫することで論理的思考力を育成するだけでなく、対話を通して仲間と活動していけるような、学習活動を考えていきたいです。



◆プログラミングの重要性や、なぜこれから必要になるのか、一人一台使用しなければならぬのかがとても分かる授業でした。プログルでは実習で研究授業を参観した時と合わせて2回目ということもあり、最初より良く学べました。その時の感想も「難しかったけど楽しい。」でした。次の授業でもしたい。が多かったです。プログルを通すと組み方を考えることが可能。また、公倍数を覚えることができるメリットがあると思いました。これからもっとプログラミングについて調べようと思います。

◆プログルで行った公倍数コースは、大人でも難しいと感じるところもありました。子どもにとって、簡単に成功できるものだけではなく、少し難しいものにする事で、自分で何回もチャレンジしたり、友だちと話し合ったりすることで学ぶ楽しさを味わうことができると感じました。私が教育に携わった時にこの経験を生かしていきたいです。



◆プログラミング教育は大切だとよく耳にしましたが、それがなぜ大切なのかは個人的にはっきりとしていませんでした。しかし、今回の講座を聞いて、それがある程度わかった気がします。簡単に使えるというのもそうですが、特に個別最適化された学び(小～大までの学習履歴を閲覧できる)ことについては、プライバシーやセキュリティの問題はありますが、とても画期的で素晴らしいものだと思います。また、前半に出てきたスマホ、タブレットなどの使用用途については、現時点において、海外では宿題などの学びに使用されている割合も多いのに対して、日本ではほとんどがゲームなどに利用されているという割合が出ていました。これは日本のプログラミング教育がまだ発展途上であるから、このような結果になるのは必然的だと思いますが、これから様々な場面でプログラミングが普及していけば、この割合も上がってくるのではないかと感じました。

◆GIGAスクールのことについての知識や、プログラミング思考という言葉は聞いていましたが、その中身の部分は知識不足でした。日本は他に比べて、コンピュータを使う授業のパーセントの低さに驚きました。講義を聞きこれから先ICTの活用が今より増えて、日本がよりプログラミングについての活動が増えていくことがわかりました。今日行ったプログラミングのアプリは、自分で行っても難しく、それを教育現場に出たら、児童に教えていくことになります。教える上で、そのアプリの使用法だけを知っておくのではなく、アプリの良さやどういったことに生かされて行くのかなどを理解した上で児童に教えていきたいと思いました。

